



■送別球技大会、お疲れ様！！ 2月2日(金)

優勝、準優勝おめでとう！！ 1部：優勝3-5、準優勝3-6  
2部：優勝2-5、準優勝2-7 3部：優勝1-6、準優勝1-5



天気も良  
好、生徒た  
ち自身で運  
営を行うこ  
とができ、  
3年生にと  
って、最高

の1日になったと思います。1、2年生は3年生の姿をしっかりと目に焼き付け、次年度の学校のリーダーとなるよう頑張ってください。(生徒会顧問 上地貴也)

■お弁当コンテスト☆2017年度

3年生文系選択「食物」授業の取り組みです。

優勝、準優勝、おめでとう！！

●優勝 『多国籍food弁当』



3組 天久依吹 3組 松田ひかる  
4組 藤野佳樹 4組 金城美起

☆アピールポイント

色鮮やかfood! 盛り付けを工夫した! 栄養バランスに気をつけてメニューを考えた! スムースに手分けして作った!

●準優勝 『細織たっぷり! 秋の味覚弁当』



1組 新垣 志織 1組 宇栄原梨栞  
1組 普久原杏南 2組 稲嶺文乃

☆アピールポイント

根菜多めで作りました。リンゴの皮をうさぎ型にしてみました。色鮮やかに仕上げました。サミのレモンソーを食べやすい様、1口大

にしてみました。

●準優勝 『ひよこ兄弟のゆかいなランチ♪』



3組 與那城葉 4組 知花偉吹  
3組 垣花美優 4組 小佐々珠

☆アピールポイント

このお弁当1つで5大栄養素がバランスよくとれます!

ひよこのくちばしをコーンで再現しました! クッキー型でチーズやハムをく

り抜いて飾りました!!

※どれも栄養のバランスも考えられており、そして美味しいような弁当です。授業での学習成果でしょう!!

■JRC同好会主催校外清掃、お疲れ様！！



1月30日(火)16時10分から「JRC同好会主催校外清掃」を行いました。

今回の校外清掃では往復徒歩30分圏内を清掃場所とし、主に公園や道路などを清掃しました。1年生から2年生までの約80人の生徒が参加し、活発に生き生きと清掃していました。読高生のボランティア精神を感じる事が出来ました。今回の校外清掃では課題点も多く見つけましたが、それらも踏まえ、次回の校外清掃をより良いものになりたいと思っております。

最後に参加して下さった生徒の皆さん、本当にありがとうございました。次回の校外清掃にもぜひとも参加してください。

(JRC同好会 2-7津波古 樹生)

■平成29年度読谷村教育委員会表彰

2年嘉陽帆夏さん、読谷村教育長表彰おめでとう



2月1日、読谷村教育委員会表彰式典が読谷村文化センターでありました。2年8組、嘉陽帆夏さんが読谷村教育長表彰で表彰されました。その功績として、「難関である珠算10段、暗算10段の両検定に合格。

ひとつの物事に真摯に取り組む姿は、他の児童・生徒の模範となるものである。教育長表彰を行い、これまでの取り組みを称えらるとともに、今後ますますの活躍を祈念するものである。」と紹介されています。他に、教育功労賞、社会教育功労賞、文化功労賞、善行賞などがあり、全体で27個人、3団体が表彰されました。

そして、受賞者を代表して帆夏さんから謝辞がありました。「珠算や暗算を一生懸命頑張ったことが自信に繋がっている」の言葉が印象的でした。「一芸は道に通ずる」という言葉があります。「どのような芸でも、その芸を極めた者は、その他の事柄においても物事の道理がわかるようになる。」ということです。何か一つでも一生懸命頑張ることはとても大切なことです。おめでとう!!

■1年佐久間かざりさん、新聞で紹介!!

新聞を見て驚きました。そして嬉しく思いました。



1月28日(日)沖縄タイムスです。それも一面の記事です。「いじめ『助けたい』」と大きなタイトルに、二人の女

子の写真が掲載された「青葉のキセキー次代を歩む人たちへ」という企画記事です。

石垣島出身の、現在慶応大学1年生島尻優楓さんが自身の体験から「10代がいつ、どこにいてもいじめの悩みを相談でき、心のよりどころにできるアプリの開発」に取り組んでいる内容です。驚いたのは「志を共有するのは読谷高1年の佐久間かざり」と、読高生(1年6組、佐久間風里)も一緒に関わっているということです。「2人は1年間で県内外千人以上のいじめ被害者の話に耳を傾け、寄り添ってきた。」と続きます。

企業支援による人材育成プロジェクト「Ryukyurogs(琉球フロッグス)」に応募し、100余名の応募者から書類選考や面接などをとおして採用された9名の中に、2人がいたことが出会いのきっかけだそうです。かざりさん達は、いじめ相談ダイヤルの実態を調べようと全国60以上の相談機関に電話をかけたり、インターネットで全国のいじめ経験者にアンケートを募ったりなど、アプリ開発のための準備もすっかりしており関心しました。

2人の「気付き、考え、行動する」の実践、大変素晴らしいことです。「賛同したエンジニアの協力で年内に試作品ができる見込み。」とあり、きっと多くの悩んでいる人たちの救いの、心のよりどころのアプリとなることでしょう。

アプリの完成が楽しみです。